

サービス 通信

富士重工業株式会社

本社：東京都新宿区

西新宿1-7-2 (スバルビル)

NO. FAS-067A

発行 47年6月26日

改訂“A”47年12月7日

1. 標 題 オルタネータ・クーリング・ファン (P/N PU-1605A) の交換
2. 適用機体 FA-200シリーズの機体でオルタネータ (P/N ALZ-8401) を装備している機体。
3. 適用度 指令事項
4. 目 的 標記ファンの不具合を防止するため。
5. 指 示 標記ファン (P/N PU-1605A) を改良型のファン (P/N 90-2241) と交換する。
6. 実施時期 サービス通信 FAS-067に基づく最終検査から100時間を経過する時又は1972年12月31日のいずれか早い時まで本サービス通信 FAS-067A にしたがって交換を実施する。
7. 承 認 航空局承認済 (No-東-056) 47-12-6
8. 所要部品 ファンの交換には下記の部品が必要である。

部品番号	部品名称	1機当個数
90-2241	FAN	1
9. 特殊工具 な し
10. 重量重心 無視できる
11. 準拠資料 (1) 航空局発行「耐空性改善通報 TCD-809A-72」昭和47年9月16日
(2) FAA発行「耐空性改善通報 Prestolite. Amdt. 39-1487」
(3) Prestolite Service Bulletin ASM-8, 5-30-72
12. 所要工数 2.0 MH

FAS-067A

PAGE 1 OF 3

13. 作業手順

- (1) サービス・マニュアル項目 4-3-1 により下部エンジン・カウリングを取外す。
- (2) サービス・マニュアル項目 10-6-6、(2)~(4)によりオルタネータをエンジンから取外す。
- (3) オルタネータ・プーリーをストラップ・レンチまたは適当な工具で押えて、プーリー取付ナットをゆるめ、ナット、ロック・ワッシャー、プーリー及びファンを取外す。

注 意

プーリー取付ナットをゆるめる際に、ファンを押えてはならない。ファンを押えようと、ファンが曲がり変形し交換が必要となる場合もある。必ずプーリーを保持してナットをゆるめること。

- (4) 第 1 図に示す如く新しいクーリング・ファンを取付ける。

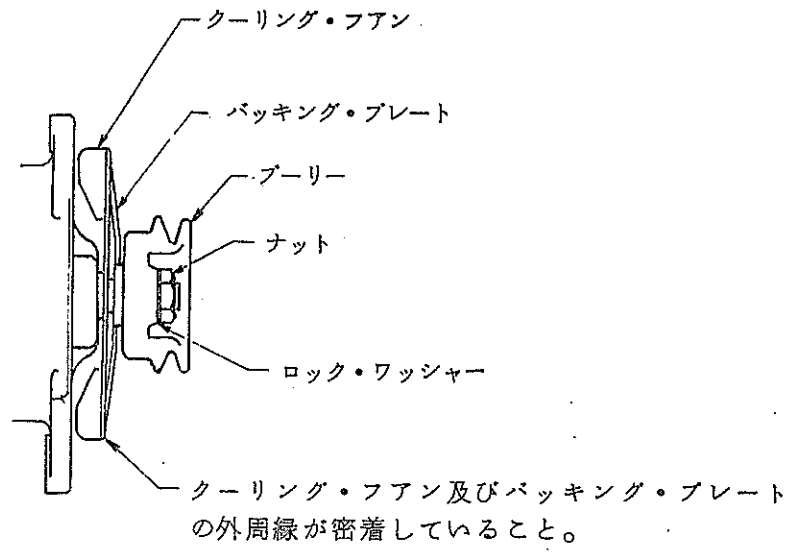
注 意

新しいクーリング・ファンは厚いアルミ板のファンと薄いアルミ板のバックング・プレート（押え板）からできている。(3)項の注意は取付の際にも必要である。

- (5) バックング・プレートの外周縁がファンの外周縁と密着していることを確認し、プーリー、ロック・ワッシャー、ナットを取付け、35~40 ft-lb でナットを締付ける。
- (6) オルタネータをエンジンに取付ける。ベルト・テンションが規定値になるようサービス・マニュアル、第 3 章、表 3-5 (4/4) により調整する。
- (7) 下部エンジン・カウリングを取付ける。

14. その他

本内容は FAS-067 (昭和 47 年 6 月 26 日発行) の全面改訂版である。



第1図 クーリング・ファン取付要領図